

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(秋)は3歳馬マスカレードボールがG I 初制覇

11月2日(日)に行われた天皇賞(秋)(G I)では、今春のクラシックで皐月賞3着、日本ダービー2着の成績だったマスカレードボール(牡3歳/美浦・手塚貴久厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。天皇賞(秋)の出走条件が3歳以上となった1987年以降では、3歳馬の勝利は5頭目のこととなります。

●横山典弘騎手が黄綬褒章を受章

令和7年秋の褒章において、横山典弘騎手(美浦・フリー)に黄綬褒章が授与されることとなりました。

●3歳以上・ダート1,600mの中央競馬レコードタイム更新

11月1日(土)の4回東京10日・第11レースとして行われたペルセウスSでは、ジェイパームスが1分32秒9(重)のタイムで勝利しました。これは2001年・武蔵野S(G III)でクロフネが記録した1分33秒3(良)ならびに2022年・グリーンチャンネルCでデンシエルトが記録した1分33秒5(重)を更新する、3歳以上・ダート1,600mの中央競馬レコードタイム、および東京競馬場・3歳以上・ダート1,600mのコースレコードとなります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●船橋のJBCはミッキーファイト、アンモシエラらが優勝

JBCクラシック(Jpn I、11月3日、船橋、1,800m)は、5番手から差を詰めたミッキーファイト(クリストフ・フルメール騎手、牡4歳、父ドレフォン)が直線に入って間もなく抜け出し、単勝1.7倍の支持に応えて帝王賞からJpn I 2連勝。3馬身差の2着にメイショウハリオが入り、キングズソードは4着、2番人気のウィルソンテソーロは5着、シャマルは9着、サンライズジバングは10着に敗れています。

JBCスプリント(Jpn I、11月3日、船橋、1,000m)は、逃げ争いを制した5番人気のファーンヒル(笹川翼騎手、牡6歳、父キンシャサノキセキ)が1番人気のママコチャを1馬身抑え、JRAから大井へ転入後3連勝。3番人気のサンライズアムールが3着、チカッパは4着、クロジシジョーは5着、2番人気のドンフランキーは10着、ティエムスパードは最下位の14着に沈みました。

JBCレディスクラシック(Jpn I、11月3日、船橋、1,800m)は、JRA所属馬では最低の7番人気と評価を落としていた昨年の覇者アンモシエラ(横山武史騎手、牝4歳、父ブリックスアンドモルタル)が単騎逃げに持ち込み、2番人気のテンカジョウに2馬身半差を付けて1年ぶりの勝利。1番人気のオーサムリザルトは3着、グランブリッジは4着、ライオットガールは5着、ビヨンドザヴァレーは9着に終わっています。

JBC 2歳優駿(Jpn III、11月3日、門別、1,800m)は、出遅れから4番手に取り付いた6番人気のタマモフリーズ(田口貫太騎手、牝、父ルヴァンスレーヴ)がゴール前で差し切り、新馬戦から連勝。3番人気のフルールドールが2着に入って牝馬のワンツーフイニッシュとなり、逃げた1番人気のシーズザスローンは4着、2番人気のジュウリョクピエロは7着、ケントンは8着でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ブリーダーズカップクラシック〜フォーエバーヤングが歴史的勝利

現地10月31日と11月1日に米国カリフォルニア州のデルマー競馬場で行われたブリーダーズカップ(以下BC)のメインレースであるG 1 BCクラシック(11月1日、3歳上、ダート2,000m)は坂井瑠星騎手を背にしたフォーエバーヤング(牡4歳、父リアルスティール、栗東・矢作芳人厩舎)が2番手追走から3コーナーで先頭に立つと、最後は昨年の勝ち馬シエラレオーネの追い上げを半馬身差しりぞけて優勝。日本調教馬として史上初となるBCクラシック制覇を成し遂げました。勝ったフォーエバーヤングはデビューから3連勝で全日本2歳優駿(Jpn I、川崎、ダート1,600m)に優勝。昨年も東京大賞典(G I、大井、ダート2,000m)、ジャパントクラシック(Jpn I、大井、ダート2,000m)、G 2 UAEダービー(ダート1,900m)、G 3 サウジダービー(ダート1,600m)と国内外で4勝を挙げましたが、アメリカのG 1 ケンタッキーダービーとG 1 BCクラシックはともに3着でした。今年2月のG 1 サウジカップ(ダート1,800m)で香港のロマンチックウォリアーを下して優勝。その後4月のG 1 ドバイワールドカップは3着でしたが、前走10月の日本テレビ盃(Jpn II、船橋、ダート1,800m)を制して、ここに臨んでいました。